

# 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

## ②施設・事業所情報

名称：	エンゼル保育園	種別：	認可保育園
代表者氏名：	園長 鈴木真咲美	定員（利用人数）：	40（37）名
所在地：	221-0046 神奈川県横浜市神奈川区神奈川本町12-6		
TEL：	045-453-2190	ホームページ：	<a href="https://angel.grandir.org/">https://angel.grandir.org/</a>
【施設・事業所の概要】			
開設年月日	2015年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：	特定非営利活動法人 グランディール		
職員数	常勤職員： 14名	非常勤職員：	7名
専門職員	保育士 15名	栄養士	1名
	看護師 0名	調理員	2名
	用務員 0名	保育従事者	3名
施設・設備の概要	居室数： 保育室3室、調理室、医務室	設備等：	屋上園庭、エレベーター、多目的トイレ

## ③理念・基本方針

幼児期に受けた経験は、数十年の時を越えても、なお鮮明に記憶して蘇ってきます。  
『三つ子の魂百まで』と諺にもありますが幼児期は人間形成の最も大切な時期。この大切な時期にこそ慈しみ育てることは、その生涯を豊かなものにします。  
特に人生の初期に人から愛されることによって、自分も相手を大切にしようとする心の芽生えを逃さず、身近な人と親しみ関わる中で、人に対する優しい思いやりとそして人権を大切にする心を育てます。

保育目標

- ・ぬくもりのある雰囲気の中で、子どもの様々な要求を満たし、情緒の安定を図る
- ・生活に必要な基本的な生活習慣や態度を養い、健康安全など、心身の健康の基礎を育む
- ・地域交流を通して、社会性や道徳を学び、また、自主協調の態度を養う

④施設・事業所の特徴的な取組

園の運営法人は特定非営利活動法人グランディールです。法人傘下の保育園は横浜市内に当園を含め3園あります。1972年に当園の前身が当地で会社の託児所として発足しました。その後、1975年にプレハブのエンゼル保育園となり、2015年には認可保育園に、今年度2022年には創立50周年を迎えています。園は京浜東北線東神奈川駅または京浜急行電鉄東神奈川駅から徒歩5、6分で、周辺は雑居ビルや集合住宅、企業ビルが立ち並び、寺や神社、公園などに囲まれた一画にあります。横浜駅まで1駅でもあり、最近では駅周辺に高層マンションなどが立ち並んできています。園舎は4階建てのビルで4階部分を園長室と屋上スペースとし、1～3階が保育室です。保育室は広いとは言えませんが、収納などを工夫し、効率的に室内を使用しています。園庭がない代わりに屋上で園児が夏期に水遊びをしたり、プランターで野菜を育てたりして、計画的に散歩や公園で遊んでいます。また、横浜市の子育て支援活動の催しや神奈川地区センター、公園などで地域の子どもたちと交流しており、園の活動の様子はホームページや写真付きのSNSに掲載しています。「慈しみ育てる」という保育理念のもと、保護者と職員の深い愛情に包まれて、子どもたちは伸び伸びと育っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年5月18日（契約日）～ 2022年9月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（ 2018 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆保育の質の向上に向けて、自主管理センターの目標管理を実施しています

園では職種別、経験年数別3種類の用紙で、左側を自己評価欄、右側を目標欄とする目標管理表を作成しています。年度初めに自己評価欄では「求める保育士の姿」として、規律性、責任制、保育実践など諸項目の内容に沿って5段階で自己評価を行い、目標欄には現在の自己課題への目標を記入して提出し、園長は期待やコメントを記入し戻します。職員は自身の目標達成に努め、10月の園長面談で前期の振り返りを行った後、2月末に再度管理表で自己評価を行い、年度末の目標結果への自己評価を記入します。それを基に園長面談を行い、「求める保育士の姿」への再度の自己評価結果と個人目標結果に対する園長評価と次期への励ましを受けています。

◆連絡帳を活用して子どもの育ちを伝え、保護者の保育を支援しています

園では連絡帳を活用して、保護者と連携、交流しながら子どもの育ちを伝えています。1、2歳児では体調や子どもの様子、3歳児以上では子どもたちとのかかわりや日々の様子など、年齢に応じた書式を使って子どもと家庭の情報交換が円滑にできるようにしています。健康診断・歯科検診の前には保護者に児童検診前アンケートを配付します。連絡帳に検診情報や注意事項を書き込んだ小さなメモを貼り、保護者に意見や要望を書いてもらうことで検診を周知し、質問等に返事や回答を書きます。通し番号を振り、成長記録として大切に保管する保護者も複数いるので、園では連絡帳を卒園児の記念品を兼ねた、大切なツールとしています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

法人創立50周年を迎えた年に第三者評価を受審することができ、改めて法人理念に基づいた保育の大切さを考える時間となりました。また、社会の動向に対応した保育所運営の必要性を全職員で話し合う機会となり、これまでの振り返りと、これからの中長期を見据えた保育について検討していくことができました。

前回の第三者評価では横浜保育室から認可保育所へ移行して初回の受審でしたので、多くを求めつつ模索しながら保育所運営をしていた時期でもあり、沢山のアドバイスやご指摘を頂き、子ども達、保護者、職員が相互に寄り添い会える居心地の良い保育所を目指して取り組んできました。子ども達が安心して過ごせる場所であるためには、そこに携わる職員にとっても働きやすい職場でなければより良い保育はできないということに焦点を当て、職員の声を吸い上げて労働環境の整備に取り組んで参りました。

昨今、コロナ禍により保護者や地域との交流の機会が制限されることも多かったのですが、柔軟な思考を持ち、今回の第三者評価で頂いたアドバイスを生かし新たな活動や方法を作り上げていくことで、エンゼル保育園が今後も地域に根付いた温もりのある保育所であり続けるように尽力して参ります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり